



第732号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

4月6日(木) 14:30~15:30 第6回 検数労連23春闘交渉

中央港湾団交の推移を・・・ 検討を重ねて・・・

主体性なき両協会の態度に不満を表明!有額回答待ったナシ!

4月6日(木) 第6回検数労連23春闘交渉で、組合は両協会に対し22年度の収支状況と23年度の収益予想、有額回答の提示を求め交渉を行いました。

《全日検》

22年度の収益状況については、これまでも説明してきた通り、昨年12月頃からのコンテナ本船の減便や、半導体不足による自動車等の取扱いの減少、さらには円安による青果物の落ち込みなどもあり、昨年実績を下回っている状況である。

これらの要因は23年度も続くとしており、先行き不透明感はない状況にある。

そのような中で、23春闘での有額回答となるが、港湾の制度要求についても進めなければならぬ中で、中央港湾団交の推移を注視して慎重な対応を取らざるを得ないことから、有額回答提示については今しばらく時間をいただきたい。

《日検協会》

前回の交渉でも労組から有額回答について言及されたが、本日時点では、まだ検討を重ねている段階であり、もう少し時間をいただきたい。

22年度の収益状況については、新型コロナウイルスの影響

等により、主要取扱貨物の減少があったが、検査関係では好調に推移した。しかし、検査関係の好調も主要取扱貨物の減少分を補うまでには至らず、計画比では減となった。

23年度の見通しは収益増を見込んでいるが、これは現在各支部で取り組んでいる料金アップに向けた折衝の成果を盛り込んでのことなので、先行きは不透明であると言わざるを得ない。



《組合主張》

組合は両協会から収支状況等を聞き、次の通り主張を行いました。

毎回の主張の繰り返しになるが、産別交渉の推移が見えない

緊急告知!

4月12日に第4回中央港湾団交が開催。

次回交渉では両協会へ『有額回答』を強く求めることから、4月12日(水)18時~検数労連中央主催のリモート決起集会を開催します。

23春闘の山場が近づきつつある中、検数労連の団結で組合要求を勝ち取ろう!

※次回交渉

4月13日(木)

13時30分~

中で、有額回答が出せないということは主体性が無いと言わざるを得ないし、率直に不満を表明する。

両協会の収益状況、今後の見通し等を聞いたが、企業の収支状況以上に我々の家計の状況は深刻化している。両協会においては、有額回答に向けてこのことも充分に理解したうえで、この回答を強く求める。